



伊高だより

Iseaki High School

入学式に 希望の瞳

新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるう中、令和二年四月八日、第十六回、群馬県立伊勢崎高等学校入学式が行われました。



本年度着任した田口智彦校長からは、お祝いなことばとともに、自らを成長させ、苦境を乗り越えるたくましさをも身につけて欲しいという訓示が贈られました。



これに応えて、新入生代表の近藤真穂さんからは、高校生活への期待と、学びに向けた強い気持ちの宣誓が行われました。
新入生たちは、真新しい制服に袖をとおし、輝いた瞳で希望に胸をふくらませていました。



感染予防に 異例の配慮も

人が集まる入学式においては、できる限りの感染防止対策がとられました。生徒の座席の間隔は従来より広くとり、マスク着用をお願いしました。また、前列席される保護者の数も、生徒一人につき一名と制限を加えさせていただきました。

このような異例の対応に際し、関係する多くの方々のご理解とご協力のもと、無事に入学式が実施できましたこと、あらためて感謝申し上げます。



新2・3年生 登校日 social distance

行政からの臨時休校の要請で、生徒は原則自宅待機が続いています。本校では『3密』の状態を極力避け、四月十五日(新3学年)四月十六日(新2学年)の登校日を設けました。

登校するタイミングには時間差をつけ、人との距離を置いて教室に入れました。しばしの間担任と生活状況の確認などを行い、学習課題を配付しました。生徒たちは、久しぶりに友と会えた喜びから歓声があがる場面もありましたが、長期に及ぶ自宅待機に、疲労や寂しい表情を浮かべるものもあり、心がしめつけられる思いがしました。



令和2年度 新着任者紹介

よろしくお
願い
いたします。



田口 智彦
(校長)



堀越 晋
(教頭)



相川 雄大
(地歴・公民)



小山 辰美
(数学)



松本 誠仁
(数学)



木村 昌史
(理科)



桂木 広志
(理科・実習助手)



福田 颯斗
(保健体育)



飯塚 直也
(芸術・美術)



並木 淳
(英語)



林 静華
(事務)

Classi を使った

ある日の担任から生徒へのメッセージ

皆さんおはようございます。

Classi

昨日は登校日ということで、返却物、配布物等を受け取ったかと思えます。

旧クラス単位で行われたので、新3年4組の人すべてに会えたわけではありませんが、多くの方が元気そうでした。

ただ、やはり生活のリズムが崩れている人は多かった様子。

Classi の調子が悪くて入力等できないこともあるかもしれないけれど、生活リズムを整えることを意識して起床・就寝時間が乱れている人は改善できるように記録していきましょう！

また、体調についても引き続き気を使っていきましょう。

日々新型コロナウイルスに罹患する人が増加していて不安だとは思いますが、しっかり寝て、適度に運動をし、食事を適量食べるということを続け、免疫力を高めて対抗していきましょう。

自分の体調変化にいち早く気付くためにも、朝晩の検温もしっかりね。

今日は久々に皆さんもちゃんと Classi につながる状況になっていると思うので、ぜひ皆さんの様子をコメントで教えてくださいね！

『学び』の正常化へ

今、さまざまなことが異例づくめの状態です。これまで普通に学校に通い、生徒が集い、笑い声の絶えなかった教室が、突然のコロナショックにより変化を余儀なくされています。

早く問題が解決するのが望ましいのですが、長期におよぶという予想もあります。今後、いかに学校を元の姿に戻していくか、そして生徒の学びをどのよう

に保証するかが学校の課題となっています。本校の取り組みの一つとして、『Classi・クラッシー』というネットワークを活用した学習支援システムがあります。パソコンやスマートフォンを使って、学校の担任や教員とメッセージのやりとりをしたり、質問の回答、デジタルでの課題配信などが可能です。

また改善点はありますが、これらのメディアも活用して、生徒の学びをしっかりサポートしていきたいと考えています。

今後数ヶ月は不確実なことも多いと思いますが、いずれ学校が正常化に向かっていくとともに、アフターコロナの教育現場も今とは変わっていかざるを得ないと思います。

本年度も伊高だよりで本校のようすを発信していきたいと思いたいです。どうぞよろしくお願いたします。

